

朝日町の関係人口を増やす 施策の提案に向けて

報告者： 文教大学 国際学部国際観光学科 3年

中西 勇輔

矢後 颯太

新堀 颯大

森山 量太

目次

- ▶ 1. はじめに
 - (1) 文献調査
 - (2) 研究対象と目的
- ▶ 2. 高山市での調査
 - (1) 質問紙調査
 - (2) 現地調査
 - (3) ヒアリング調査
- ▶ 3. 提案
- ▶ 4. 課題
- ▶ 参考文献

1. はじめに

(1) 文献調査

- ▶ 調査日時...2024年7月10日～26日
- ▶ 調査目的...発表テーマ及び研究のフィールドを定める
- ▶ 調査手法...インターネット、パンフレットを使用
- ▶ 基礎調査内容...高山市の各エリアの自然、人口、イベント、観光資源等

①高山市朝日町の概要

- 朝日町は岐阜県高山市の南東部に位置する
- 東西に14km、南北に26kmの細長い形の町



②把握したこと

- ・ 朝日町の人口が減り続けている
- ・ 朝日町は、春夏秋冬それぞれで多様な、魅力ある観光資源が存在

(例)

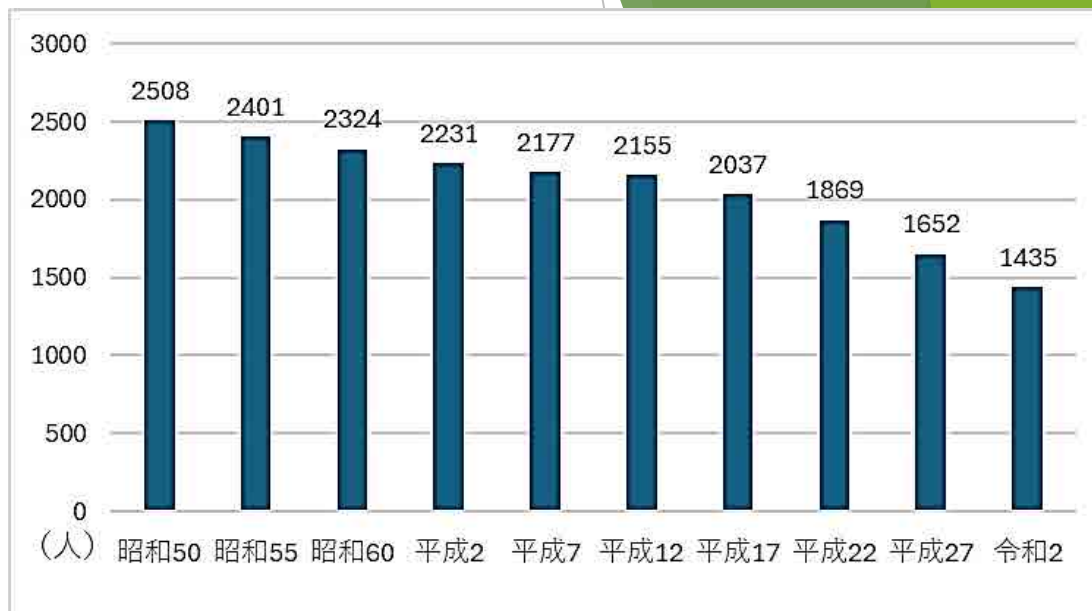
春：枝垂れ桜、山野草を楽しむハイキング

夏：キャンプ、川遊び、溪流釣り

③感じたこと

- ・ 沢山の人に魅力を知ってもらう価値がある
- ・ 自然が豊富で、訪問してみたい

表1 朝日町の人口推移



出典：令和5年度 高山市のあらまし 3. 人口

https://www.city.takayama.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/001/001/904/r5_03_jinkou.pdf



枝垂れ桜

(2) 研究対象と目的

朝日町の過疎化に歯止めを掛ける施策を提案したい。

- 基礎調査を通して観光スポットと言われている場所ではなく、自然や空気などの一見当たり前なものに魅力を感じた。
- 朝日町への訪問者を増やし朝日町の良さを知ってもらうにはどうすれば良いかを考えたい。
- 外部の者だからこそ俯瞰して提案できることがあるのではないかな。



ゼミナールでの学びを研究に活かす

→真板昭夫氏の特別講義から学んだ事を提案に反映させると決めた
「地域の内部の人にいる人にとってはありふれたものであっても、
外部の視点が加わることで、地域の固有性を再発見することはよくあること」 (真板,2016)

The background image shows a scenic view of a river in Takayama City. On the left, a stone staircase leads down to the riverbank, which is lined with lush green trees. The river itself is filled with water and many small, white, flower-like objects floating on its surface. To the right, a steep, grassy bank rises, with a multi-story building visible in the upper right corner. The sky is blue with scattered white clouds.

2.高山市での調査


➤ 調査手法

- ①質問紙調査
- ②現地調査
- ③ヒアリング調査

➤ 現地調査日 2024年9月25日



(1) 質問紙調査

- ▶ 調査目的...観光客がどのくらい朝日町を認知しているのかを把握する
 - ▶ 調査時間...2024年9月25日 午前7時~12時
 - ▶ 調査場所...高山市の中でも、観光客が集中するスポットとして高山駅前、宮川朝市、高山陣屋周辺
 - ▶ 対象者...観光客
- 

質問項目

- ▶性別
- ▶年齢
- ▶どこから来たか
- ▶高山市朝日町（旧朝日村）を知っているか
- ▶知っている場合は、どこで知ったか

質問紙調査結果

表2 質問紙調査結果

| 認知数 居住地 | 知っている(人) | 知らない(人) | 計(人) |
|------------|----------|---------|------|
| 高山市外在住 | 0 | 45 | 45 |
| 高山市在住 | 4 | 0 | 4 |
| 計 | 4 | 45 | 49 |

- 高山市在住の方は、4名全員が朝日町を認知しており、認知している理由は「親」「ニュース」「飛騨高山ウルトラマラソン第一関門」であった。
- 質問紙回答者は49名であった。高山市外在住者で朝日町を知っている回答者はいなかった。

(2) 現地調査

- 調査手法..レンタカーで高山市から朝日町へ移動し、道の駅ひだ朝日町周辺を散策
- 調査目的..**外部の視点を活かし、インターネットやパンフレットに掲載されていない朝日町の潜んだ魅力を発掘する**
- 調査時間..9月25日（水）午後

調査対象地



道の駅ひだ朝日村周辺の様子

現地調査結果

質問紙調査を行った高山駅周辺との違いが明確であった

朝日町

- ・道の駅ひだ朝日町が定休日だったこともあり、観光客が見受けられなかった
- ・緑に囲まれており、空気が非常に澄んでいたため、**リラックス**できた
- ・風景に建物が入り込んでこず、空が綺麗に見えた



市街地エリア

- ・平日にも関わらず、町は観光客で賑わっていた
- ・一方で、どこへ行っても観光客が多く、**落ち着ける場所**がなかった



(3) ヒアリング調査

▶ 朝日支所の職員にヒアリング

調査目的・・・朝日の現状と課題について把握する

対象者・・・A氏（朝日まちづくり協議会 事務局長）

B氏（高山市朝日支所 次長）

C氏（高山市地域振興課 地域振興係 係長）

質問項目(1)朝日町の過疎化及び対策について

(2)地元住民の声

(3)朝日町の課題



ヒアリング調査結果

質問への回答

- 質問(1) 朝日町の過疎化及び対策について
→回答 SUNSUNハウスなどを活用し人との繋がりを大切にしている
- 質問(2)住民の声
→回答 地域活性に対する考えが二極化
- 質問(3)朝日町の課題
→回答 Uターンする人が少ない、イベント後の活気がない、少子化及び高齢化、空き家問題

その他、分かったこと

- 年間を通して様々なイベントが行われている（氷祭り、釣り大会、飛騨高山ウルトラ マラソン、朝日ふるさと夏祭り、高原紅葉祭り、 しめ縄づくり、ぶり街道祭りなど）
- 食材（ほうれん草、トマト、大根、山菜）収穫時期（4月～12月）

3. 提案

高山市朝日町を宿泊研修の プログラムの実践地として活用

“宝探し”とは？

▶ “宝探し”とは、朝日町の「良さ」「魅力」を見つける活動

- ① 宝石や金貨を探すわけではない
- ② 観光資源にこだわらなくてよい
- ③ 主観的で良い

例（他の人にとってはただの“枝”も自分が
魅力だと感じたらそれは宝になり得る）

ツアー形式による“宝探し”

1日目 午前 高山駅周辺を観光
(朝市、商店街などで自由に過ごす)

午後 朝日町で“宝探し”
(“宝探し”=地域の良さ、魅力)
(地域住民と一緒に朝日町の街歩きをして、
来訪者に自分なりの朝日町の良さを見つけてもらう)

<宿泊施設に到着>

2日目 午前 掲示物作成
(1日目に見つけた朝日町の宝について他の来訪者と共有しあう)

午後 掲示物発表
(掲示物を地元住民の前で発表し、
来訪者と地元住民で意見交換の場を設ける)

プログラムのメリット

- 先に観光客の多い高山駅周辺を体験しその後朝日町に行くことで、朝日町の空気の美味しさなどにより気づいてもらえる
- 朝日町の“宝探し”を地元住民と一緒にすることで、地元住民にも自分の住んでいる町に誇りを持ってもらい良さに気づいてもらいたい
- 掲示物を宿泊施設に貼ることで、来訪者が季節ごとの朝日町の魅力に気づくことができる

プログラムの参加者の条件

①対象年齢 大学生以上

朝日町のリピーターになってもらえるようするために大学生以上を対象とする。

高校生以下もそのときの思い出や記憶を基に後にリピーターとなることも考えられるが、「即効性」を考慮した結果、対象を大学生以上とした。

②地元住民との関わりを大切に出来る人

③活動に楽しく真剣に取り組める人

プログラムの人数

参加者 10人程度

朝日町宿泊施設の規模や“宝探し”をする地元住民の確保などを考えると1回のツアーにおいて10人が適していると判断した。

地元住民 5人程度

朝日町を散策する際に来訪者2人あたり地元住民1人がつくようにして、来訪者と地元住民が密にコミュニケーションをとれる環境作りをする

4.課題

ツアー実現のために

- 来訪者と一緒に“宝さがし”をして頂ける地元住民の協力
- ツアー全体を仕切るガイドが必要
- 宿泊施設の確保
- 朝日町の住民に対する配慮
 - 地元住民の協力があるためのツアーのため、地元住民ファーストで物事を進める
 - 1回目のツアー実施後、地域住民とツアーの改善点を話し合い、問題が解決してから次のツアーを企画する

参考文献

- 朝日駐在所 岐阜県公式ホームページ <https://www.pref.gifu.lg.jp/site/takayama-sho/9516.html> 最終閲覧（2024年11月13日）
- 過疎地域自立促進計画 [kasoikeikakugenkou.pdf](#) 計画期間 平成22年度～平成27年度 最終閲覧（2024年11月13日）
- 高山市過疎地域持続的発展計画 [kasoikeikakur03.pdf](#) 計画期間 令和3年度～令和7年度 最終閲覧（2024年11月13日）
- 飛騨あさひ観光協会 <https://www.hidaasahi.jp/> 最終閲覧（2024年11月13日）
- 真板 昭夫 『地域の誇りで飯を食う』（2016） 旬報社
- 令和2年国勢調査人口等基本集計 [r2jinkou.pdf](#) 最終閲覧（2024年11月13日）
- 令和6年度 朝日まちづくり協議会総会 <https://hida-asahi.org/archives/1921> 最終閲覧（2024年11月13日）